



今年開催された希望郷いわて
国体では、多くの町出身・在住・
在勤選手が活躍を見せました。
選手のコメントとともに、その
一部をご紹介します。

国体 だより ～ファイナル～

バスケット ボール Basketball

少年男子 町内出身3選手の活躍で第3位 岩井勇人選手・渡辺海生選手(盛岡市立高校3年) 澁田怜音選手(盛岡南高校3年)

バスケットボール競技少年男子には、小学1年生のころからバスケットボールを始めたという町内出身の3選手が出場し、第3位の成績を修めました。



澁田選手 地元開催ということでたくさんの応援を受けて楽しくプレーすることができました。また、自分たちは全国で通用するプレーができるのだと自信にもつながりました。12月に行われる全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会(ウインターカップ)に出場するので、国体以上の成績を目指して頑張ります。

渡辺選手 違う高校に進んだ友人と再び同じチームでプレーすることができましたし、チーム全員で挑んだ国体で3位という結果を残すことができとてもうれしかったです。応援に来てくれた親戚や中学のときのコーチたちの声援が力になりました。

岩井選手 チームではキャプテンを務めたため、応援してくれた方々やこれまでお世話になった先生、コーチの期待に応えることができほっとしています。国体はトップ選手たちとプレーできる貴重な機会です。多くのことを学ぶことができました。この経験を生かして、もっと活躍できる選手になりたいです。

ボウリング Bowling

少年男子 個人で5位入賞 阿部航希選手(紫波総合高校2年)

中学1年生のときにボウリング競技を始めた阿部選手。お父さんの指導を受け、ほぼ毎日練習を重ねてきた成果が実り、5位入賞を果たしました。

競技を始めたころからいわて国体での優勝を目指して練習してきたので、優勝することができずとても悔しいです。しかし不調の中でも入賞できたのは、県民の皆さんの応援のおかげだと感じています。来年5月に行われる全国大会に出場するので、良い成績を残せるようにこれからも練習を頑張ります。





成年男子 4位入賞 岩手県代表チーム

バレーボール競技成年男子岩手県代表チームは、紫波町を中心に活動している岡崎建設アウルズのメンバーが主体となっています。昨年の成績を上回り、見事4位入賞を果たしました。

町出身・在住・在勤選手は、1番・伊藤康宏キャプテン(紫波総合高校教諭)、5番・石川優選手(岡崎建設(株))、7番・山本憲吾選手(黒沢尻工業高校教諭)、8番・橋本卓也選手(東北銀行)、9番・西村優輝選手(岡崎建設(株))、10番・三ヶ森誠選手(紫波町役場)、賞状を手をしている岡崎希裕監督(岡崎建設(株))

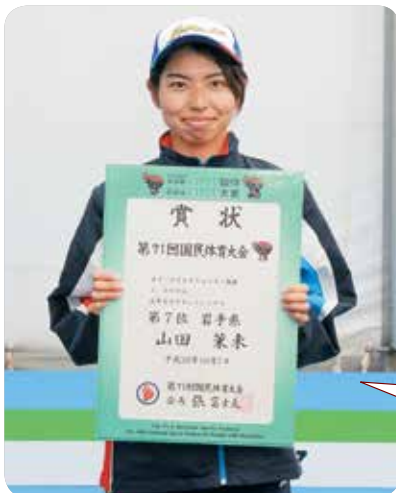


伊藤選手 4位入賞という結果を残すことができ、応援してくれた方々や監督たちに恩返しができたと感じますし、今まで行ってきたことが報われてとてもうれしいです。会場全体の応援を受けてプレーできたことは、二度とない経験になりました。



成年女子 ワイルドウォーター カヤックシングルスプリントで6位入賞 ワイルドウォーター カヤックシングル1500mで7位入賞 山田菜未選手(JAいわて中央)

高校生のころ、波や流れのない湖で速さを競うカヌースプリント競技の部活に所属していた赤沢地区の山田選手。社会人になってから始めたワイルドウォーター競技で、昨年の和歌山国体に続いて2大会連続の入賞を果たしました。



どこまで上位にいけるかが大事だと思っていたので、自信のあったスプリント種目で6位という結果はとても悔しかったです。しかし、今回の国体では職場の方々や友人、家族などたくさんの方々の応援の中で競技ができて幸せでした。来年の愛媛国体に向けて、まずは東北予選を突破できるよう、トレーニングを続けていきます。



山岳
Alpine

成年男子 リードで6位入賞 **昆脩太選手(岩手県スポーツ振興事業団)**

高校で登山部に入ったことがきっかけで競技を始めたという赤石地区の昆選手。高さ15m程度の人工壁を時間内にどれだけ高く登れるかを競うリードで6位入賞を果たしました。



賞状を手にする昆選手(左)

国体では、競技初日に少年男子がリードで優勝し、自分たちも頑張らなければならないという気持ちが強くなりました。皆さんの声援を受けながら楽しく競技ができ、入賞という成績を残すことができました。来年の愛媛国体では、今年の6位入賞を上回る結果が残せるよう、努力していきます。



スケート
Speed skating

成年男子 スピード2000mリレーで6位入賞
芝西佑哉選手(山王海土地改良区)

古館地区出身の芝西選手は、1月28日から31日まで開催された希望郷いわて国体冬季大会スケート競技のスピード2000mリレーで6位入賞を果たしました。

高校卒業後は、いわて国体での入賞を目標に練習してきたので、入賞できたことはとても良い思い出になりました。また今までお世話になった方々へ少しでも恩返しができたと考えています。地元開催ということで緊張もありましたが、県民やスケート関係者の方々の熱い声援が、大きな力になりました。

ボート
Boat

少年女子 **舵手つきクォドルプル**で7位入賞
鱒沢萌衣選手(盛岡第三高校3年)

高校に入ってからボート競技を始めた日詰地区の鱒沢選手。高校入学時からいわて国体を見据えた練習を重ね、4人の漕ぎ手と1人のかじ取り役が乗り、タイムを競う舵手つきクォドルプルで7位入賞を果たしました。

国体は一つの区切りと思って挑んだので、入賞という形で三年間の練習の成果を出すことができよかったです。国体で入賞できたのは、周囲の方々が練習環境や食事など、さまざまな面でサポートしてくれたからだと感じており、とても感謝しています。



ありがとう!!

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会は町民の皆さんの応援・活躍で成功のうちに終わることができました。来年の愛媛国体でも、町出身・在住・在勤選手の活躍をみんなで応援しましょう!!